

地域の声を
市政へ

議会とまちづくり協議会の意見交換会



新規就農者に対する補助金を増額すべきではないか



備中
会場

川上町の畑地かんがい施設が老朽化し、多額の更新費用が掛かる。市で対応すべきではないか



川上
会場



高梁
会場

税や社会保険料の負担が重く、市民は努力しているのに見返りが感じられない。財政難なら国にもっと働きかけて財源を確保すべきではないか



有漢
会場

有漢町で耕作放棄地、空き家、農地などの情報を一元化し、移住者が農業と子育てをしやすくしたい。トラブル防止のため地域の組織や町内会長のレクチャーが必要ではないか

備中
会場



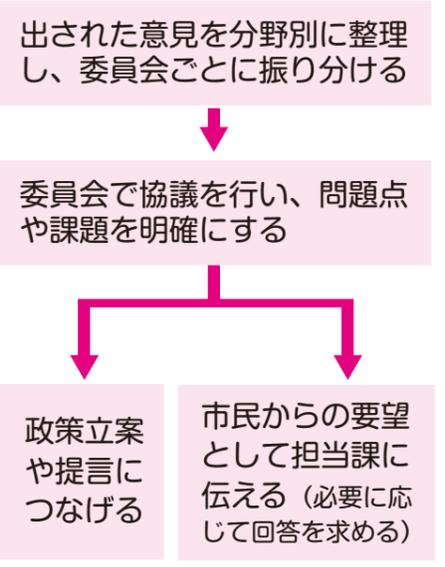
備中診療所での処方箋の方法が変更されたことが十分に周知されていないのではないか

コミュニティ協議会では地域が合同で事業をしても片方にしか交付金が出ない。どうにかならないか

成羽
会場



みなさんの「声」を届ける！ 市への提言・要望までの流れ



今回の意見交換会は、議員を所属委員会2班に分け、地域局単位で行いました。高梁、備中では市政全般について、有漢では「有漢学園を核とした地域づくり」、成羽では「地域課題に対するこれからのまちづくり協議会の在り方について」、川上では「議員から見た川上地域の課題」をテーマに、意見交換を行いました。

各会場とも少子高齢化と過疎化が進む中、移住定住の促進や荒廃地の対策、インフラの整備など、それぞれの地域の課題が多く出されました。議員からは、行政の取り組みや議会でも出された課題、他の地域や自治体の取り組み等を説明しました。

また意見交換で出された意見・提言は、それぞれの委員会で仕分けし、市に伝えるべきものは議会として担当課に提出し、議会ホームページに掲載していきます。

今後2回を目途に意見交換会を開催しますので、よろしくお願います。

地域の課題をどう乗り越えるか

令和7年10月21日に高梁会場、川上会場、10月23日に有漢会場、11月12日に成羽会場、備中会場において、合計99名の方に参加いただき、意見交換会を行いました。